

上妻小学校との学校間交流

今年度の小学部の交流は上妻小の3年生51人と本校小学部3年生11人と4年生7人で行いました。

1回目の学校探検に引き続き、2回目の交流は10月20日、本校でポッチャ体験を行いました。上妻小の友だちが補助具を押さえて投球の補助をするなど、ほのぼのとした雰囲気の中での交流となりました。また、ジャックボールに少しでも近づけようと白熱したゲームが行われ、一緒に盛り上がりました。



下妻特別支援学校



交流だより



『交流及び共同学習』とは、誰もが互いに人格と個性を尊重し会える共生社会の実現を目指すために、障害の有無に関わらず、児童生徒と地域社会の人たちが触れ合い、ともに活動する機会を設けることを目的としたものです。これらの交流は平成28年度後期に下妻特別支援学校で実施したものです。

それぞれの活動が特色ある交流となり、児童生徒一人一人が輝きました。今後も活動を進めていきます。

平成29年3月

地域交流・花いっぱい活動

第4回花いっぱい活動が11月10日（木）に行われました。下妻市青年会議所、下妻市婦人会上妻支部、下妻市社会福祉協議会のボランティアのみなさんと一緒に、寒さにも負けずビオラの苗を植えました。

花を植えたプランターは市役所や社会福祉協議会、下妻第二高等学校など12か所に設置しました。



障害者スポーツ理解啓発推進事業講演会

シドニーパラリンピック車いすバスケットボールで銅メダルを獲得した上村知佳さんの講演会が下妻市の千代川公民館で開かれ、250人（本校児童生徒、交流校、保護者、一般参加者）が耳を傾けました。

「できないことを考えるのではなく、できることを最大限生かすこと」「見方を変えて、できることをみつけること」等々、心に響く講演内容でした。

講演会の最後には、「努力の過程に意味がある。」
「好きなことをみつけて毎日少しずつ積み上げて。」と熱いエールをいただきました。



地域交流・天体観測

11月10日に寄宿舎の舎生や通学生が参加して「秋の星空観測会」を行いました。

あいにくの天候で望遠鏡での観測はできませんでしたが、月のビデオやクイズ、望遠鏡の説明があり、宇宙の謎や不思議な話を楽しむことができました。



下妻中・下妻東部中との作品交流

中学部では、下妻中学校と下妻東部中学校の2校と作品交流をしました。

「この絵が素敵だな。」「私も描いてみたいな。」等の感想が聞こえてきました。

生徒達がじっくり鑑賞している姿が印象的でした。感想文を交流校に届けました。

